

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 株式会社池田泉州ホールディングス
 コード番号 8714 URL <http://www.senshuiked-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(氏名) 服部 盛隆
 (氏名) 田原 彰
 TEL 06-4802-0013
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	90,507	—	7,252	—	△2,291	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2.41	—
21年3月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,970,505	127,477	2.5	74.44
21年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 126,437百万円 21年3月期 一百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2.70	2.70

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	—	6,300	—	△4,000	—	△6.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 959,541,463株 21年3月期 一株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 4,456株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 950,765,298株 21年3月期第3四半期 一株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、平成21年10月1日に株式会社池田銀行と株式会社泉州銀行が経営統合し、両行を完全子会社とする共同持株会社として設立されました。当第3四半期が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

○ 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第一種優先株式)

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—		
22年3月期 (予想)				196円を18.5で除した額	196円を18.5で除した額

(第二種優先株式)

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期	—	—	—		
22年3月期 (予想)				204円50銭を18.5で除した額	204円50銭を18.5で除した額

【定性的情報・財務諸表等】

1 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、資金運用収益596億36百万円、役員取引等収益121億45百万円、その他業務収益90億84百万円及びその他経常収益96億40百万円を計上し905億7百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用129億86百万円、役員取引等費用43億18百万円、その他業務費用9億31百万円、営業経費411億82百万円及びその他経常費用238億35百万円を計上し832億54百万円となりました。

以上の結果、経常利益は、72億52百万円となり、特別損益10億26百万円を計上後の税金等調整前四半期純利益は、82億79百万円となりました。しかしながら、繰延税金資産を取崩したため、法人税等合計105億52百万円を計上し、四半期純損失は、22億91百万円となりました。

当社の子会社である株式会社池田銀行の単体業績は以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間のコア業務純益（一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益を除く）は、経費の削減に努めましたが、資金利益の減少により、前年同期比41億76百万円減少の76億36百万円となりました。経常利益は、株式関係損益が大幅に改善したことから、前年同期比289億17百万円増加し、63億80百万円となりました。また、特別損益を加味した税引前四半期純利益は前年同期比275億7百万円増加の68億14百万円、四半期純利益は、前年同期比286億13百万円増加の70億40百万円となりました。

当社の子会社である株式会社泉州銀行の単体業績は以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間のコア業務純益（一般貸倒引当金繰入額と債券関係損益を除く）は、資金利益や役員取引等利益の減少及び経費の増加等により、前年同期比31億26百万円減少の30億86百万円となりました。経常損失は、与信関連費用や債務担保証券（CDO）区分処理損の減少等により、前年同期比2億80百万円減少の5億99百万円となりました。また、特別損益を加味した税引前四半期純損失は、統合関連費用の発生等もあり前年同期比13億9百万円増加の18億15百万円、四半期純損失は、繰延税金資産の取崩等により、前年同期比101億47百万円増加の112億10百万円となりました。

2 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金

預金の当第3四半期連結会計期間末残高は、子銀行において個人預金を中心に増加し、4兆2,798億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金の当第3四半期連結会計期間末残高は、子銀行において住宅ローンが増加し、3兆4,222億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券の当第3四半期連結会計期間末残高は、1兆2,711億円となりました。

(4) 投資信託・保険窓販

①投資信託預かり資産残高

当第3四半期連結会計期間末の投資信託預かり資産残高は、2,514億円となりました。

②年金保険販売額

当第3四半期連結累計期間の年金保険販売額は、547億円となりました。

3 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、本日開示しております「平成22年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成21年11月13日に公表しました業績予想を修正いたします。

なお、当社単体の業績予想並びに配当予想については、修正ございません。当初発表どおり、普通株式1株当たり2円70銭の期末配当を実施する予定です。

4 その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動はありませんが、経営環境に著しい変化が生じたため、中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングに、当該著しい変化による影響を加味しております。

(四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理)

該当する事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当する事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	
資産の部	
現金預け金	78,570
コールローン及び買入手形	20,000
買入金銭債権	1,271
商品有価証券	7
金銭の信託	18,972
有価証券	1,271,170
貸出金	3,422,284
外国為替	6,228
その他資産	74,126
有形固定資産	37,647
無形固定資産	3,856
繰延税金資産	39,833
支払承諾見返	39,838
貸倒引当金	△43,303
資産の部合計	4,970,505
負債の部	
預金	4,279,808
譲渡性預金	11,500
コールマネー及び売渡手形	20,000
債券貸借取引受入担保金	265,779
借入金	86,216
外国為替	164
社債	58,300
その他負債	73,732
賞与引当金	353
退職給付引当金	5,942
役員退職慰労引当金	709
睡眠預金払戻損失引当金	291
偶発損失引当金	389
繰延税金負債	0
支払承諾	39,838
負債の部合計	4,843,028
純資産の部	
資本金	50,000
資本剰余金	60,751
利益剰余金	31,664
自己株式	△1
株主資本合計	142,414
その他有価証券評価差額金	△15,975
繰延ヘッジ損益	△1
評価・換算差額等合計	△15,977
少数株主持分	1,040
純資産の部合計	127,477
負債及び純資産の部合計	4,970,505

(2) 四半期連結損益計算書
 (四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	90,507
資金運用収益	59,636
(うち貸出金利息)	47,617
(うち有価証券利息配当金)	11,903
役務取引等収益	12,145
その他業務収益	9,084
その他経常収益	9,640
経常費用	83,254
資金調達費用	12,986
(うち預金利息)	10,936
役務取引等費用	4,318
その他業務費用	931
営業経費	41,182
その他経常費用	23,835
経常利益	7,252
特別利益	1,129
固定資産処分益	0
償却債権取立益	1,117
睡眠預金払戻損失引当金戻入益	11
特別損失	102
固定資産処分損	92
減損損失	10
税金等調整前四半期純利益	8,279
法人税、住民税及び事業税	779
法人税等調整額	9,773
法人税等合計	10,552
少数株主利益	17
四半期純損失(△)	△2,291